光町酪農組合の集乳所完成

光町酪農共同組合の集乳所が完成し、八月四日盛大な落成式が行はれた。

この集乳所建設事業は昭和三十六年度新農特別助成事業の指定をうけて行はれたもので、総工事費三、二一四千円内国庫補助一四一五千円で、木造平家建一棟二八坪の建物に機械器具一式（日立小型冷凍機七、五HP、冷却クーラー等）を備えた近代的設備のもので人工授精所の敷地内に建設された。

この施設は、日産三〇〇石の生乳を冷却処理ができる能力を持っている。

この施設完成は町の酪農家にとっては、一大福音で此れからは最も有利は販売体制ができたわけである。

農家の成長作目の主位におされている酪農が、この施設の完成を機会に、一大飛躍の発展を期待する次第である。

集乳所落成式典

国民年金保険料免除の申請を

町民各位の御理解ある御協力によりまして光町の国民年金は昭和三十六年度に於て適用率九九、七%収納率九〇、一%で発足第一年度としては非常なる好成績を納めることが出来ました。

未納率九、九%については保険料を納入することが非常に困難だとか、病気あるいは其の他の事情でどうしても納入することが困難な方たちと思はれますが、そのような人達には申請免除と云ふ手続をすれば保険料は免除となり其の間に於て種々の事故（死亡、障害）にあった場合障害、母子、準母子と云ふ年金がもらえるようになるのです。免除申請もせず未納のままにしておいて事故にあった場合は何等の給付も受けることが出来なくなります。申請免除は申請のあった日の属する月前の直近の基準月から免除されることになっており昭和三十七年四月分から保険料の免除を受けようとする場合は七月中に申請しなければならないことになっております。したがって被保険者が八月以降に申請した場合は四月分からの免除の適用は受けられず七月分からの保険料が免除されることになり、その間（四～6月まで）の保険料は納付しなければならないことになっております。

町内で実際にあった例を申し上げますと、

Aさんは夫が恩給受給者と云ふので其の妻は認意加入せず今年四月不幸にして夫が死亡してしまいました。母子年金とのことでありましたが国民年金に加入しておらず手のほどこしようもなく気の毒に給付も受けることが出来ませんでした。（児童扶養手当受給申請中）

またBさんは夫婦そろって加入し保険料も月々完納しておりました。この方も不幸にして今七月夫が死亡し妻と子供二人と云ふ家庭になってしまいました。

この方は直ちに母子年金と云ふことで所定の手続をすませ只今申請中であります。

母子年金は十八才未満の子供一人で一万九千二百円で一人増すごとに四千八百円が加算されることになり子供が十八才になるまで支給されます。

この方は弐万四千円いただけることになるのです。

このような次第ですので昨年昭和三十六年度免除の申請をし今年も引続いて免除を受けたいと思はれる方。今年はどうしても保険料を納入するのに困難だと云ふ方は早急に役場の国民年金係に御相談下さるよう御知らせいたします。

台風

来襲期を控えて

八月も半ばを過ぎますと、そろそろ自然災害の発生に対する準備期となります。すでに第七号台風は大きな被害を残して居り、これから本格的な台風期を迎えるに当り、国、県市町村を一体とした災害対策に大章の状況であります。当町も栗山川沿域における災害発生に備え、県と共ですでに五百余俵の空俵を旧東陽中学校に備蓄いたしました。過去の例から顧ねてせうが。県下における災害事例として水害の占める割合が非常に多く、水害の内、河川災害が最も多くなっています。したがって本県では特に水防を主とした事業計画を決定しており、これに基いて災害に対処すべく各関係機関を挙げて準備しておりますが、災害発生の場合地元の方々の御協力がなくては、何事も出来ませんので、本紙を通してお願い申上げます。

又災害通報については、有線等に依り役場まで御連絡下さるよう重ねてお願いいたします。

特に時間的に集中降雨の場合は、消路の破損も予想されます。したがって稲架の設置についても充分御留意されますよう申添えます。又稲架除去の際には必らず穴埋めを確実に実行して下さい。雨水が稲架の穴に流れ込みますと、それが原因で道肩の破損を来たした例が各地に多くあります。光町もこの国の施策を受け入れて、近い内に農業構造改善事業と取りくむ事になるがそれには第一に町としての受入興勢の整備がたされなければならない。

町にも各農業関係団体で構成される。農業構造改善事業協議会がその計画の樹立指導に当る事となるが、この事業は直接には農業者自体が行うものであるから、町の農家の皆様がこの趣旨を充分研究理解し、一日も早く受入態勢を整え、この計画をとりいれて、振興方策を期待してやまない。

次にこの事業の大要を述べます。

一、方針

適地適産の作目を各地域毎に定める。その作目の基準は一地域平均は一、八種目で多くも三種目を超えない様にし、主産地形成を目標としてそれに関連した事業に重点をおく。

二、助成対象事業の実施基準

1 受益戸数一〇戸以上

2 期間　事業は着手した年度に完了する事

三、新築、新品、新設の事

1 土地基盤整備事業

2 経営近代化施設（共同施設）

3 特認事業

四、一市町村当り補助金額

補助対象事業費　九、〇〇〇万円

内補助額　四、五〇〇万円

単独融資対象事業費二、〇〇〇万円、内訳農林漁業金融公庫資金二、〇〇〇万円、農業近代化資金一、八〇〇万円

・これから多い伝染病・・・・

私たち光町の住民には縁の遠いコレラが、新聞紙上をにぎわしました。といって油断は大敵です。

身近に、伝染病が発生しています。とくにこれから赤痢のシーズンになります。夏まけした体に、暴飲、暴食がよい訳がありません。秋に赤痢等が発生するのも、この理由からです。現に、昨年十月には集団発生をみた部落もあり、今年はすでに八人が隔離されています。次のことを必らず守って、農繁期にそなへましょう。

○用便後、食事前にはよく手を洗う。

○暴飲、暴食をつつしむ。

○生水、生ものに注意。

○はえ、ねずみ、あぶら虫を駆除する。

○発熱、下痢、腹痛の症状があるときは、早く医師に見てもらう。

○素人療法は絶対に禁物。

ちなみに伝染病にかかった場合の治療費と、入院日数は平均して、

赤痢　一四、三〇〇円　一八日

ジフテリー　一九、三〇〇円　一八日

脳　一五、八〇〇円　一六日

となっています。

貴重な町費ちゃいやす伝染病も、あなたの一寸した予防方法で、完全に防ぐことができます。

環境を変えて

裏磐梯に教育キャンプを

＜青年学級だより＞

東陽青年学級生一行三十二名は七月二十六日から四泊五日、裏磐梯檜原湖畔いかり潟キャンプ場で移動学級を行った。夜汽車を利用して猪苗代駅に早朝六時半着。

磐梯高原行きバスに乗り換えて野口英世記念館を見学目的地に向う。車は約一時間磐梯山を左に眺め長瀬川にそって高原駅に着く。

美しい絵のような静かな檜原湖を遊覧船で渡る。午前十一時いかり潟キャンプ場に到着、日程どおり開講式「野営について」の講習。五時より各班毎の飯盒炊さん、夕食。久し振の飯盒の飯は又格別。七時より親睦会、全体会議十時就寝。

第三日目は一八一八米の磐梯山登山の為五時起床、七時出発、急な箇所が相当多く登山初心者は大分疲れる。体力のある者はリック等を余計担ぎ助け合いながら全員登頂に成功する。残念ながら物凄い濃霧が発生して視界はゼロであった。風も強まり寒さも加わりセーターを着ながら中食をとる。夜汽車の時間の関係で、帰路は他の道を戻る予定であったが、濃霧のため同じ道を下山。

第四日目　起床六時、朝の集いの後五色沼へハイキングボルドー液の色に似た水は絵を見ているように美しい。午後はキャンプファイヤー四泊五日の自然美深まる湖畔に火を囲みながらキャンプファイヤーを行う。厳肅な儀式に始まり、キャンプの歌や各班毎の隠し芸、面白おかしくファイヤーを楽しみつつ、キャンプの夜を過した。

三十日朝七時猪苗代駅発、帰路に着く。車中ではキャンプの疲れが出ていたか、あちらでもコクリ、こちらでもコクリ。夢は楽しいキャンプ生活と、なつかしい故郷とが錯綜する。

横芝駅に下車した。九時半

写真は裏磐梯檜原湖畔キャンプ場にて

農業構造改善事業とは

国民経済の成長発展、社会生活の進歩向上につれて、賃銀、物価が年毎に上昇してくるので、それに適応する様に、農業の生産力をあげ農業従事者の所得の増加を図って、農業者と均衡がとれる様にしなければならない。

そのためには、昔のままの農業のあり方を変えて、農業の近代化を図れる様農業のしくみを変える事が必要となって来ます。

これについて、国では昭和三十六年度から十ケ年計画で全国の農業地帯の三、一〇〇市町村を対象として、農業構造改善対策事業を実施する事になった。

これについて、国では昭和三十六年度から十ケ年計画で全国の農業地帯の三、一〇〇市町村を対象として、農業構造改善対策事業を実施する事になった。

巷の声

婦人が家庭から抜け出して集りに出るといふ事は実際には大変な事である。姑の手前を考へたり子供の世話をし、食事の心配まで一通りして出かけなければならない。

こんなにして貴重な時間を私達はつくり出して集りに出るのであるからPTA又は婦人会、父母会議、青年団とその他どんな集りでもああ、今日は出席してよかった、今日は一つこんな得るところがあったといふ何物かをつかまない様な集りは無意味であると思ふ。

去る七月の婦人会の総会に出席してあんな議会に後味のわるい総会は始めてであった。型通りの収支決算報告を終り来賓祝詞を町長さんがべられた折「町長さんのやる事は一切まちがっている〆」とヤジった会員の一婦人の言葉。来賓とはお客様の事であるはづ……お客様をお招きしてその言葉をヤジるといふのは一体どうした事であろうか……

婦人会長も議会を傍聴して「私達の代表である議員諸士の活潑な意見を期待していたのにあんな議会では拍子抜けだ」とこの欄に書いて居られたが私達の総会はこれこの通りと心中思ふ人多しかも？

何回もヤジる言葉に対して会長として何の制止をする事もなく放言を許している点は、どうしてもその様にしか思はれない。私達としても町を代表する町長さんの言動に対して色々な理由から果されない事もあり、不足な点は種々あるがまちがっているとは思はない。もう少し冷静になって考へてみようではありませんか。あの場所で発言する事は必ずしも婦人の地位の向上にはならないと思ふのです。

労働組合のヤジを真似る様な事は止めて、真正面から切り込んで「町長さんを囲んでの婦人の声」、等といふ座談会をやってみてはどうでしょうか。

そして、日常、私達のわからない点、疑問の点、を話し合って行く事が「ガラス張りの町政」といふ、キャッチフレーズに一歩一歩近づいて行く事ではないでしょうか。その折にこそ思ひ切り苦言をはく事もお互ひの向上に役立つ事と思ふのですが……

かきまはし役になる事よりもまとめ役に一人一人がなって町全体が団結してゆかなければ私達の町は日一日取残されて行ってしまふでせう。自己の役得のとりこにのみならず、「私だって小さい力ではあるが、この町のお役に立っているのだ」といふ大きな愛町の心を以て――

小さな一つの灯もやがて大きな集れば必ず、この町を明るく照らし、光の町の名に恥じない町になってゆく事でしょう。

＜近藤文子＞

後記

長くうっとうしい梅雨が終ったと同時に万物が燃えて了ってはないかと思うような暑さである。昔科学というものなかった時代に逆戻りしてこれを解釈したらどのようなことになるか、考えて見ただけでも興味深々である。何れの企業も夏枯れといって八月は、二月と共に最も暇の多い月とされているが、ひかり広報のニュースソースは暑さにもめげず目白押しの盛況であり、その選定に、編集に向鉢巻で取組んだ結果まあまあと自慰している。本紙が町民各位の手許に届くころは、初秋の訪れもあることでしょうが実りの秋、収穫の秋、一年間の決算期に入るわけである。時節柄御多幸御健斗をお祈りいたします。